

中学校（社会科・地理）「世界と日本の産業・資源」

提案者 仙台市立七北田中学校 津谷 泰公
日本の産業や資源が、世界とどのように結びついているのかを理解する。

1 単元の目標

2 本時の目標

日本の林業や漁業について関心を持ち、国際的な課題と合わせて考える。

3 活用コンテンツ

NICER より

<http://www.nicer.go.jp/teachers/> キーワードを「養殖漁業」で打ち込む。

何を養殖しているのだろうか。



随分広いところで育てているんだね。

4 本時の流れ

	段階	学習活動 (使用コンテンツ・URL、 指導上の留意点、 評価の視点)
本時流れ	導入	1. 三大漁場を、教科書の世界地図からさがす。 大陸棚や潮目、海流などの影響などにも目を向けさせる。
	展開	2. 200海里経済水域設定によって、漁獲高がどう変化したかを確かめる。 3. 漁業の仕方にはどのような方法があるのかを調べる。 4. コンテンツを見て、「育てる漁業」について考える。 NICER より「養殖漁業」 5. 世界の森林とその減少の様子を教科書の地図で確かめる。
	まとめ	6. 森と漁業がどんな関係にあるのかをグループで話し合い、発表する。 森林と漁業とのつながりを「森は海の恋人」という言葉を使って説明できる。

5 授業の様子

コンテンツを見ることで、「育てる漁業」についてじっくり考えるきっかけとなった。森林との関係も「育てる」という意識付けがされたあとであれば、生徒も考えやすい。

意識付けがされたあとであれば、生徒も考えやすい。

6 授業者の感想

漁業も林業も限りある資源として、育てながら活用する、ということの大切さを実感させられた。

